

もいや里山新聞

9/6

【日曜日】
発行

守谷里山ネット



ザリガニ釣り

五月に親子で田植えを行いました
たが、七月五日(日) 田んぼ周辺の
草取り、自然観察会として池や小川
でザリガニ釣りなどを行いました。

「まもり」自然体験とソーメン流し

生憎の雨模様でしたが、小雨との
天気予報で決行することになりました。



ソーめん流し

里山の会は前日までに上総掘り
井戸のポンプアップと調圧タンク、
里山から青竹を切りだし加工して
約7mのスロープ設置、七夕飾りの
竹笹も併せて切り出して会場設置
など受け入れ準備を行いました。
当日は雨天のため急遽テントを
設置しましたが周辺の足場が悪い
のは仕方ありません。
三々五々集まった子供から用意
した仕掛けでザリガニ釣りを始め
ました。大雨を心配して水槽でも釣
れるようにあらかじめ捕獲してお

きました。やはり現場の
方が楽しく、しばらくする
と雨も上がり、池周辺で結
構調子よく釣れだし、大人
の方が真剣になってきて、
お昼時になってしまいました。
昼食は待望のソーメン流
しで、完成したスロープの
傾斜と流量を確認するため
に笹舟とミニトマトを流し
てみるとコロコロ転がって
おもしろそうです。
そこで昼食を用意してく
れた若マグループが、ソ
ーメンだけでは栄養が偏る
かもしれないと、ブドウ、
キュウリ、ミカン、ゼリー、
シソ葉、ハム、ナタデココ、
モズクなどを次々と流し始
めました。
子供達は次は何が流れて
くるかと、そのたびに歓声
があがり大騒ぎ、野菜嫌いな子供も
思わず手が出ます。
昼食後は七夕飾りに願い事を書
き、スイカ割り、最後は里山の会か
ら雑草(ゴミ)のお土産配布。ゲー
ム機などなかった時代は、遊び方が
わかれば小さな子供には宝物に見
えました。取り扱い説明書はなく、
里山の会のワンポイント説明だけ
です。(ガマのチャンバラ、ネコジ
ヤラシの競馬、ススキの矢飛ばし、

ハラジオンの貧乏花飛ばし、ヨシの
笹舟、七夕飾りの竹枝など)
今回は雨天の予報に準備も中途
半端となってしまいました。自然
の力は偉大で、子供達は必ず何か
興味を示します。里山の会のイクジ
イ(育爺)世代と子育てネットとの
コラボは、笑いと感動の三世代交流
イベントとなりました。

目次

1. 「まもり」自然体験とソーメン流し
2. 「ようこそ守谷へ」
3. 大野川魚類調査、湧水水質検査
4. 北守谷夏祭りに出店
5. 「まもり」稲刈り



守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ケ丘 5-25-1

守谷市民交流プラザ内守谷市民活動支援センター付

☎ 0297-46-3770 メール denen21@hb.tp1.jp

ホームページ [「野に集い野に遊ぶ」](http://www.w01.tp1.jp/~a071771011/index.html)

<http://www.w01.tp1.jp/~a071771011/index.html>

ボランティア募集
あなたも一緒に楽しみましょう!

二・よこすけ守谷へ

六月二七日(土)常総総合体育館において、転入者歓迎の行事「よこすけ守谷へ」が行われました。

新住民に守谷の素晴らしい自然や里山を知ってもらおうと、「守谷里山ネットワーク」はブースにパネル展示などで参加しており、今年も三年目になります。

各団体の活動内容を紹介するパネル、「田んぼの学校旗」展示のほか、里山マップと里山新聞の配布などを行いました。

その中でも参加者の注目を受けるのが水槽での「里山の魚達」です。何処にいたのですかと聞かれて、この会場のすぐ近くの小川から先程採ってきたと聞いて皆驚きます。



ザリガニ釣りに集まる子供達



里山マップで場所を具体的に紹介すると、是非子供を連れて行ってみよう興味津々です。しかし何ととっても子供達が注目するのは恒例の「ザリガニ釣り」です。最初水槽を一つしか用意しなかったところ、子供の数が増えてきて大変な状況となってきたことから、急遽増設をして対処しました。中にはイベントの間中ずっと離れずにいる子供もいます。実は、魚類は前もって捕獲して水槽で待機していましたが、ザリガニは共食いするので、当日の午前中に捕獲作業を行ったものです。ところが、午前中は雨天の最中で予定数を確保できるか心配していましたが、里山の真面目なザリガニのお陰で三〇分くらいでかなり捕獲

できて安心したところです。これだけ子供達に喜んでもらえればやった価値がありました。 **三・大野川の魚類調査** 「よこすけ守谷へ」で水槽により里山の魚等を展示するために里山の小川や池の生物を採集展示しています。 今年は少し里山から範囲を広げて下流の大野川を対象とし、天気もよさそうだったことからイベント直前の二五日(木)に魚類調査と捕獲作業を行いました。 上流から、里山の小川が流れ込む暗渠の出口、大野川の中流、お玉が池の三か所で調査しました。 コンクリート暗渠のため、出口にはほとんど魚は確認されませんで

したが、直下のアサヒビール沿いの河川は上流ほど水がきれい、下流になるとかなりヘドロが堆積してきますが、タナゴやハゼ類が確認されました。 中下流農地内の大野川本線では橋の上からでも大型のフナ、コイが黙視できましたが小型の魚類は少ない状況で、飲み口直径が5cmの仕掛けではほとんど捕獲できませんでした。下流ほどさらに水質が悪くなり、水深が大きくなって大型魚類が多くなってくるために、小型魚類は生息しにくいようです。 水田の排水路では水流も少なく、ほとんど確認できませんでした。 こうしてみると上流の里山周辺は、メダカ、ドジョウ、タモロコ、モツゴ、オイカワ、ヒメゲンゴロウ、



魚類調査：お玉が池



全検査項目は一般細菌、大腸菌、

検査キットを受け取って六月十日にサンプルングし、ただちにセンターに持ち込みました。

七月の「ままもり」そうめん流しに先だって水質検査を実施しました。地元の聞き取りで水質的には問題ないと聞いていましたが、今回は幼児が参加することから念のため実施することとしたものです。

したがって一般的な水質検査ではなく、より厳しい飲用水検査として実施するため北海道の茨城県薬剤師検査センターに飲用井戸水水質検査の手続きを行いました。

湧水の水質調査

ザリガニ、カワエビなど等極めて多様な生態系であることが実感できました。

302-0104 茨城県守谷市久保ヶ丘1-27-8		受付No. 15-1N17-100 受付年月日 平成 27 年 6 月 10 日 報告年月日 平成 27 年 6 月 16 日
清野 修		厚生労働大臣登録検査機関 (有限会社) 茨城県薬剤師会検査センター 一般財団法人 茨城県薬剤師会検査センター
飲用井戸水水質検査成績書		
採水場所	立沢里山の井戸 外井戸	採水年月日 平成 27 年 6 月 10 日
試料種類	井戸水	水道への加入 無
井戸の種類	打込井戸 (10 m)	塩素残留の有無 無
臭気の有無		検査項目 飲用井戸水13項目
味の有無		
汚染源の有無		
検査方法	「平成15年7月22日厚生労働省告示第261号」	
付記事項	採取者・宮野入 修	検査項目数 13 項目

検査項目	単位	検査結果	水道法水質基準	分析方法
一般細菌	/ml	0	100以下	標準菌天培地法
大腸菌	---	陰性	検出されないこと	特定酵素基質培地法
亜硝酸態窒素	mg/l	0.004未満	0.04以下	イオンクロマトグラフ法
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/l	1.3	10以下	イオンクロマトグラフ法
鉄及びその化合物	mg/l	0.01未満	0.3以下	誘導結合プラズマ発光分光分析法
塩化物イオン	mg/l	16.0	200以下	イオンクロマトグラフ法
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/l	147	300以下	誘導結合プラズマ発光分光分析法
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/l	0.3未満	3以下	全有機炭素計測定法
pH値	---	7.7	5.8以上8.6以下	ガラス電極法
味	---	異常なし	異常でないこと	官能法
臭気	---	異常なし	異常でないこと	官能法
色度	度	0.5未満	5以下	透過光測定法
濁度	度	0.1未満	2以下	積分球式光電光度法
— 以下余白 —				
判定	上記検査項目については水質基準に適合です。			
試験検査責任者	技術部長 高木 靖			

全硝酸態窒素など十三項目で、六月十六日付けで検査成績書が送付されてきました。

その結果、水質基準に適合することでした。湧水は当然塩素消毒をしない状態で細菌が未検出ですので、水道用水より飲用水として適しているといえます。PHはややアルカリ性の7.7という数値でした。小川に赤い鉄油膜の見えることがあります。予想に反して鉄分も少ないという結果でした。

これからは、里山作業の後などは安心して使っていたらいいと思います。

四、北守谷夏祭りに出店

八月二二日(土) 二三日(日)と恒例の北守谷夏祭りに里山の会として出店しました。

例年通り主力の焼きそばの販売に、竹炭アートの販売などを並べました。炭はまだまだニュータウンでは活用方法が知られていないために来場者には馴染みが薄く、「これ何？」から始まるのですが、何年も継続しているのと徐々にリピーターができてきて、販



売額も増加してきました。

今年は例年完売する竹炭アートのグレードアップを図り個数も増やしてみました。その結果、売上額は昨年の5割アップと上々の結果でした。竹酢液も固定客として大量購入者ができてますますの結果でした。竹炭の全重量からするとまだまだ少量なので、今後の改良と工夫が必要です。

展示している水槽のメダカが欲しいと例年子供たちがやってきますが、かなり手間がかかるので、今年はお隣の金魚すくいをしている「久保ヶ丘一丁目自治会」の水槽に放流して合わせ技で市民サービスとしました。

今年も猛暑の夏となり、出店や火を扱う焼きそば業務は大変でしたが、夕方早々に完売するという「焼きそばの底力」を実感しました。

里山の会からカマの使い方や稲の束ね方などについての説明を受けて早速親子で作業開始、稲刈りは危険な鎌を使うのでお父さんの出番が重要でした。刈った稲は皆で束ねておだ掛に、人数が多いと順調に進み最後のひと株を刈り取る際に皆から拍手が湧きました。

刈り取った田んぼの水たまりには沢山のメダカが集まっていて、子供たちは大喜び。よく見ると刈り取られて見通しが良くなった田んぼにはカエルやザリガニ、ドジョウなどの生き物がたくさんいることが

五、「ままもり」の稲刈り

九月五日(土) 子育て支援ネット「ままもり」の親子稲刈り体験を行いました。



分かりました。稲刈りの後の田んぼにはメダカの御礼に水を湛水して置きました。参加者には来週米国に転勤するという家族もいて、「就学前の子供



が日本のことを知らないままで成長するのが気がかりだった。子供たちに里山で田植えや魚採りなど日本の原風景を体験させることができ嬉しかった」という若いお母さんの一言が印象に残りました。

昼食のあとは、里山など現地の材料を使っての水鉄砲作成です。プラスチックと違ってなかなか思

うようには作れません。あまり力を入れすぎると逆噴射してしましますが、いろいろと工夫して調整しながらうまく飛んだ時は歓声が上がりました。

ザリガニ釣りなどそれぞれ前回もよく知った場所なので、自由に遊び回っていました。

【編集後記】

本紙は守谷市内で里山活動に取り組んでいる皆さんからの情報提供が何よりも重要です。活動報告、行事の予告などの記事を本誌にお寄せください。こちらまで メール⇒ denen21@hb.tp1.jp



守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい / 自然と関わりのある活動してみたい / 子供たちの遊び場を作ってみたい / みんなで楽しく汗をかいてみたい そんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。